

設備・技術で4点選出

第8回優秀賞決まる

JABMEE

建築設備技術者協会（JABMEE、野部達夫会長）は、第8回JA BME優秀賞受賞報文を発表した。今回は、新築または改修した国内建物の建築設備で優れたものを評価する環境設備優秀賞と、最新の建築設備技術を評価する環境技術優秀賞の2部門で、各2点の計4点が選出された。表彰は6月23日に開

催予定の総会に併せて実施される。

同賞では、会誌「建築設備士」の過去2年分（15年1月号～16年12月号）に掲載された報文を対象に優れたものを選定。優秀賞は、会員の発揚や誌上などを目的に選出される。

選考委員会委員長を務めた堀垣和明（東京都市大学名誉教授）は、環境設備

部門の傾向について、「これまで、さまざまな技術を組み合わせやすい大規模建物が主流となっていたが、近年は優れた中小規模建物も増えてきている。非常に望ましい傾向だ」と評した。一方の環境技術部門に関しては、「優れた技術や新しい技術はそうそう簡単に出てくるものではない。しかし、『省エネ』を取り入れた建物が多くなっ

ており、ストック重視の観点では非常に歓迎できる」と述べた。優秀賞に選出された4点に対する評議は次の通り（敬称略）。

【JABMEE環境設備優秀賞】二子玉川ライズII-a街区（16年2月号）佐藤孝輔（日建設計）、井上慎（同）、菊田剛正（同）▽飯田クリニックへの取り組み（16

年4月号）濱名有紀（三建設工業）、成松学（同）、大倉俊雄（同）、桑原亮一（同）

【JABMEE環境技術優秀賞】デスク組込み型パーソナル空調の開発（16年9月号）羽鳥大輔（三菱地所設計）、平須賀信洋（同）、加藤駿（同）▽小田急百貨店における省エネルギー改修事業の概要と省エネルギー効果および設備性能検証（16年11月号）西川雅弥（日本ファシリティ・ソリューション）

